

# 8万

## もくじ

- 市議会だより第50号特集 … 2～3
- 常任委員会活動紹介 …… 4～5
- トピックス ……………6
- 12月定例会のお知らせ ……7
- 活動報告・編集後記 ……8

(須賀川市人口 76,976人 11月1日現在) [前年度比 ▲257人]

## 復興が急がれる教育施設

### 第一小学校校舎建築



震災で全壊となった第一小学校の校舎建築工事が急ピッチで進められています。校舎と同時に体育館、児童クラブ館も建設が進められています。

仮設校舎での学校生活を強いられている子ども達には、一日も早い完成が望まれています。

### 第三中学校体育館完成



震災で大きな被害を受けて、復興が待たれていた第三中学校の体育館が、去る7月31日に完成しました。

広々とした施設の中で元気に活動する生徒達の歓声が響きわたっています。



# 「これまでの歩み」

表紙を中心にこれまでの歩みを振り返ってみました。

## 第1号（平成14年7月）

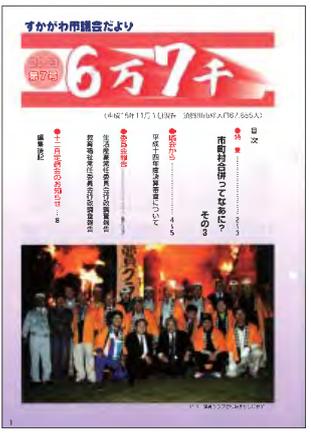
「議会と市民との橋渡し」として発刊。当時の人口からタイトルは「6万7千」としました。



※タイトルの題字は当時の議長が筆を取りました。

## 第7号（平成15年12月）

表紙写真がカラーになりました。



## 第12号（平成17年3月）

タイトルが「6万8千」に。人口が6万8千人を突破しました

が、第13号が市町村合併により変更になったため、たった2度限りの「6万8千」のタイトルでした。



## 第13号（平成17年6月）

タイトルが「8万」に。長沼町、岩瀬村との合併による新生須賀川市の誕生に合わせタイトルを「8万」に変更しました。

本号では市議会議員が48名になったため、議員紹介に5ページを割いています。



## 第19号（平成18年12月）

長年親しまれた「すかがわ探訪」の表紙が始まりました。市内各所を取材し記事にしました。



「すかがわ探訪」の表紙は平成25年9月第45号まで続きました。



## 第25号（平成20年6月）

本号から人口が8万人を割ってしまいました。平成20年5月1日現在79,981人とあります。これ以降「8万」は、目指すべき目標になりました。

## 号外（平成23年6月）

震災の影響により通常の市議会だよりを発行できず、定例会のお知らせのみ「1ページの号外」として発行しました。



## 第37号（平成23年10月）

大震災後、初めての「8万」の表紙は、半年遅れの選挙で選ばれた28名の議員の集合写真です。



「東日本大震災とこのたびの台風15号により被害を受けられました皆様にご心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んで参ります。」

時代と共に中心地の姿が変わっていきます

第18号（平成18年9月）  
市民福祉の拠点として「総合福祉センター」概要案を提示しました。



第46号（平成25年12月）

震災で全壊した「総合福祉センター」跡地に「(仮称)市民交流センター」の建設が計画されており、完成のイメージ図を表紙にしました。



第18号と第46号は同じ場所を取り上げています。「赤トリキ」から「総合福祉センター」、そして「これからは(仮称)市民交流センター」へ。二枚の表紙を見比べ、時の流れを強く感じると共に未来の須賀川市へ期待がふくらみます。

上段の第46号から現在の議会広報委員会8名が編集をしています。

表紙のテーマを「須賀川市の復旧や復興」として様々な状況を取材していきます。

第47号（平成26年3月）



第48号（平成26年6月）



第49号（平成26年9月）



議会広報委員会 行政視察報告

本委員会は、平成26年7月3日、4日、議会広報調査のために新潟県燕市を訪れました。須賀川市議会だより「8万」が50号を迎え、より良い広報にするために他市の広報にも学ぶべきと考え調査しました。

大胆な紙面づくりを行い、市民に読んでもらえる広報づくりに取り組んでおり、議会における各議員の活動についても積極的に掲載しています。本市においてもそれらを参考に、前号の「8万 第49号」から議決態度の公表を開始しました。



新潟県燕市における研修





# 常任委員会活動紹介

## 総務常任委員会

本委員会は、10月に「空港の利活用に関すること」として、岡山空港へ行政調査に伺いました。

岡山空港は、岡山駅からバスで約30分の位置にあり、岡山県を中心に、それぞれの地域から60分以内で辿り着くことができます。昭和63年に開港し、平成25年度で、国内線、国際線の定期便あわせて約250万人が利用していました。その中で、沿革、概要、経過、運行状況から、搭乗者の利用目的の推移など様々な内容を伺いました。その内容を精査し、今後は福島空港の利活用に向け、提言していきたいと考えています。

また、「危機管理体制に関すること」として、大阪府枚方市へ調査に伺いました。

東日本大震災を教訓に、市民の生活を守り、安全で安心して暮らせる環境づくりは、大変重要と考えています。

今回の調査において、特に自然災害に対し日頃から市民の意識の啓発として、災害に対するチェックリストの確認や避難所生活における様々な心のケアやプライバシーの確保など、それを確認するための資料の提供は、今後参考にすべきものと感じた所です。また、ハザードマッ



大阪府枚方市庁舎前

## 総務常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 相楽 健雄 |
| 副委員長 | 石堂 正章 |
| 委員   | 大寺 正晃 |
| 〃    | 川田 伍子 |
| 〃    | 佐藤 瞭二 |
| 〃    | 鈴木 正勝 |
| 〃    | 渡辺 忠次 |

プ作成も、未然に防ぐアイテムとなり得る点、更なる防災に向け、防災訓練強化を取り組む必要性もあり、調査内容を研究し、市政に生かす様、提言していきます。

## 建設水道常任委員会

本市では現在、中心市街地活性化基本計画事業として須賀川駅西地区都市再生整備事業を計画しています。

須賀川駅西地区の道路や広場整備により住環境の向上を図るとともに、JR須賀川駅の利用促進、市民の利便性の向上を目指しています。

本委員会では、10月7日から9日にかけて、愛知県・宮市（木曾川駅）・兵庫県たつの市（本竜野駅）での駅周辺整備事業について行政調査を行いました。

両市は共にかつて多数の乗降客がありながら、駅前広場が未整備の状態でありながら、危険な交通環境であり、駅舎利用は踏切を渡らねばならないという利便性に欠けた駅でありました。

木曾川駅は平成16年度～20年度に総事業費27億円、本竜野駅は平成19年度～24年度に総事業費30億円を費やし、駅周辺整備事業（アクセス道路、駅前広場、駐車場の整備）を行い、現在は駅両側を結ぶ自由通路や橋上駅が供用されています。この整備事業により駅利用者数も増加し、駅周辺は賑わい、都市景観の形成がされています。両市における駅周辺整備事業の取り組みについての調査は、今後の本市の整備事業展



愛知県一宮市 木曾川駅前

## 建設水道常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 塩田 邦平 |
| 副委員長 | 車田 憲三 |
| 委員   | 五十嵐 伸 |
| 〃    | 森 新男  |
| 〃    | 鈴木 忠夫 |
| 〃    | 水野 敏夫 |
| 〃    | 高橋 秀勝 |

開に資するものとなりました。

また本委員会では笹平川流域治水対策・水道事業包括業務委託を継続調査しております。今後も各種施策、事務事業について提言を続けていきます。

## 生活産業常任委員会

本委員会は、10月に先進地等への行政調査として、長野県小諸市、上田市へ出かけ、グリーン・ツーリズム事業に関する調査を行いました。

小諸市では、豊富な自然・地域の伝統文化や生活習慣などを生かした、都市と農村の交流活動を進めている「みはらし交流館」を訪ねました。同施設は、棚田における田植えや稲刈り、生き物観察、泥んこ遊び、野菜やリンゴなどの果樹収穫体験、森林での間伐体験などを行っています。また、財政や運営において、まだまだ課題の多い事業のようです。

グリーン・ツーリズム本来の基本は、農村漁村においての自然・文化、農業・漁業とのふれあいや人と人との交流を楽しむことにあります。ヨーロッパなどでは、国民の間にグリーン・ツーリズムが定着し、農村や漁村が育んできた自然・生活・文化・観光などを都市の人々に開放し、多くの市民が「ゆとり」や「やすらぎ」のある人間性豊かな田舎ならではの余暇活動を満喫されています。

上田市では、農業生産基盤の整備を行い、農地の荒廃を防ぎ、女性にもやさしい農業を目指し、その核となる活性化施設や農作業準備休憩施設等を整備する農

### 生活産業常任委員会

委員長	八木 沼久夫
副委員長	関根 保良
委員	安藤 聡
〃	生田 目進
〃	加藤 和記
〃	菊地 忠男
〃	橋本 健二

業活性化事業「ゆきむら夢工房」の事業内容を調査しました。農産物の加工・研究やそば打ちなどの体験学習を行うことにより、都市と農村の交流を目的に造られた施設で、観光案内を中心に、そば打ちやみそ造りなどの体験活動や電動アシストサイクルの貸出業務を行い「道の駅」的役割も担っています。



長野県小諸市 みはらし交流館前

## 教育福祉常任委員会

本委員会では、本市で今年から進められている「小中一貫教育」と「幼保一元化」をテーマとし、10月に行政調査を行ってきました。

三鷹市と武蔵村山市では、『小中一貫教育のカリキュラム作成』を通じ理念と具体的実践の道筋を明らかにし、『義務教育9年間を連続的な視点』で子供たちをどう教育していくかなど、子供たちと教師の人づくりという理念を明確に位置づけながら進めています。それが現在問題となっている「不登校、中一ギャップ、学力」などの問題に対しても、ある程度成果を上げていることにつながっているとされました。

国で進める幼保二元化による「待機児童の解消」は必ずしも、地方の自治体にすんなりと当てはまらない点が多いため、小山市における幼児教育は、制度改正のすべてを受け入れるというのではなく、自らの自治体の課題にあった進め方を模索していました。それは、民間幼稚園に対する幼保二元化の推進であり、公立

### 教育福祉常任委員会

委員長	丸本 由美子
副委員長	大倉 雅志
委員	本田 勝善
〃	広瀬 吉彦
〃	市村 喜雄
〃	大越 彰
〃	大内 康司

保育所においては幼保二元化を進めないなどというものであります。改めて、現状の課題を的確につかむ重要性を感じてきました。



東京都武蔵村山市立小中一貫校村山学園前

# 9月定例会の審議結果をお知らせします!

議案等番号	件名	結果	議案等番号	件名	結果			
議案	66	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	議案	82	平成26年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	
	67	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○		83	平成26年度須賀川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	
	68	市道路線の認定及び廃止について	○		84	平成26年度須賀川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	
	69	財産の取得について	○		85	平成26年度須賀川市水道事業会計補正予算(第1号)	○	
	70	大黒池埋立(その6)工事の請負契約締結について	○		86	平成25年度須賀川市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	○	
	71	財産の取得について	○		87	平成25年度須賀川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	○	
	72	須賀川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○		88	(仮称)大東こども園新築工事のうち建築主体工事の請負契約締結について	○	
	73	須賀川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○		89	須賀川市立第二小学校校舎改築工事のうち建築主体工事の請負契約締結について	○	
	74	須賀川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○		90	須賀川市立第二小学校校舎改築工事のうち電気設備工事の請負契約締結について	○	
	75	須賀川市保育の必要性の認定基準に関する条例	○		91	須賀川市立第二小学校校舎改築工事のうち機械設備工事の請負契約締結について	○	
	76	須賀川市奨学資金給与条例の一部を改正する条例	○		92	平成26年度須賀川市一般会計補正予算(第4号)	○	
	77	平成26年度須賀川市一般会計補正予算(第3号)	○		請願	6	命を守るために、憲法9条を壊し日本を海外で戦争する国へとつくり変える集団的自衛権を容認する閣議決定や立法に反対する意見書を国に提出することを求める請願書	△
	78	平成26年度須賀川市市営墓地事業特別会計補正予算(第1号)	○			12	政府による緊急の過剰米処理を求める請願	○
	79	平成26年度須賀川市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○			13	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願	-
80	平成26年度須賀川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	※	8	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書について	○		
81	平成26年度須賀川市長沼財産区特別会計補正予算(第1号)	○						

※議員提出意見書案

〈結果の表示記号〉

○全会一致で可決、同意、承認、採択    △賛成少数で不採択    -継続審査      賛否が分かれた議案等

## 各議員の賛否一覧 上の表のうち、賛否の分かれた議案などについて、議員ごとの賛否についてお知らせします。

請願番号	新公会					志政会					誠心クラブ			市民連合			無党派			議決結果													
	本田勝善	相楽健雄	生田目進	加藤和記	市村喜雄	鈴木忠夫	大内康司	渡辺忠次	安藤聡	大寺正晃	関根保良	五十嵐伸	塩田邦平	広瀬吉彦	高橋秀勝	石堂正章	車田憲三	八木沼久夫	大越彰	大倉雅志	鈴木正勝	菊地忠男	水野敏夫	川田伍子	森新男	佐藤瞭二	丸本由美子	橋本健二	賛成	反対	棄権		
6	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	5	22	0

※ ○は賛成 ●は反対 ※議長(市村喜雄)は、採決に加わりません。

**議員定数  
特別委員会が  
設置されました**

当市議会における議員定数について協議を行うため、9月定例会において、10人の委員をもって「議員定数特別委員会」が設置されました。今後は、当特別委員会の中で議員定数についての協議が行われます。

協議等の経過と結果については、市議会だより「8万」や議会のウェブサイトの中でお知らせする予定です。

委員 橋本健二  
委員 菊地忠男  
委員 大越彰  
委員 加藤和記  
委員 森新男  
委員 広瀬吉彦  
委員 五十嵐伸  
委員 大倉雅志  
副委員長 八木沼久夫  
委員長 生田目進



# 12月定例会のお知らせ

12月定例会は、12月4日(木)から12月18日(木)までの15日間開催される予定です。

定例会の会期を決定します。また、今期定例会に上程された議案などの提案理由の説明を受けます。

初日に提案理由の説明を受けた議案について議案の調査をし、今後の審査に備えます。

市政全般の事務などについて質問を行い、市政執行の状況や今後の方針などを確認したり、議員としての意見などを述べたりします。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	議会運営委員会			【本会議】 (議案一括上程提案理由説明)	議案調査	休会
7	8	9	10	11	12	13
休会	議案調査	【本会議】 (一般質問)	【本会議】 (一般質問)	【本会議】 (一般質問、総括質疑、議案等の委員会付託)	【委員会】 総務常任委員会 建設水道常任委員会	休会
14	15	16	17	18	19	20
休会	【委員会】 生活産業常任委員会 教育福祉常任委員会	【委員会】 予算委員会	事務整理	【本会議】 (委員長報告、議案等の質疑・討論・採決)		
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

議員(会派)が、委員会審査の結果を踏まえ議案等に対する賛否を検討します。

委員会審査では、各委員会(12日、15日、16日)に付託となった議案の内容について、質疑を行いながら細かく審査します。委員会として賛否を決定し、本会議最終日で委員長が審査の結果を報告します。

議案に対する議員の総括質疑を行い、更に詳細に審査するための付託する委員会を決めます。

各委員会に付託された議案等に関する委員長報告を行い、質疑・討論を実施します。それを踏まえて採決が行われます。また、追加提案や議員提出議案等がある場合は、それらについても審議します。

## 提出案件

12月定例会に提出される主な案件は次のとおりです。

### 【単行議案】

- ・須賀川市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・須賀川市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・須賀川市保育所条例の一部を改正する条例  
ほか18件

### 【予算】

- ・平成26年度須賀川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成26年度須賀川市藤沼湖周辺施設運営事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成26年度須賀川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)  
ほか5件

### 【報告】

- ・専決処分の報告について

## ～議会傍聴のご案内～



本会議や委員会は、住所・氏名を記入するだけでどなたでも傍聴ができます。本会議については、岩瀬支所3階、委員会については岩瀬支所2階にお越しください。傍聴席は本会議が24席、委員会が8席です。



## 「福島県市議会議員研修会」と

## 「岩瀬地方市町村議会議員大会」の報告

地方公共団体の議会議長は、相互間の連絡と共通の問題協議や処理をするために全国組織である「全国市議会議長会」を設けています。組織としては東北部会の「東北市議会議長会」、部会支部である「福島県市議会議長会」があります。今回は、東北市議会議長会と福島県市議会議長会の共催で毎年開催されている議員研修会の概要を紹介いたします。



講師の元総務大臣の増田寛也氏

今年度は、福島市の飯坂穴原温泉吉川屋にて8月25日(月)午後1時30分から13時、300名を越す市議会議員が参加し、須賀川市議会からも28名の参加で行われま

した。山梨学院大学法学部教授江藤俊昭氏を講師に「議会改革の到達点と住民自治を推進する議会の課題」―議会からの政策サイクルを作り出す―を聴講しました。

また10月24日(金)には、岩瀬地方市町村議会議長会主催の議員大会がグランシア須賀川で開催されました。「放射能除染活動の推進について」要望することなど6案件を採択したのち、元総務大臣の増田寛也氏を講師に「人口減少問題について」の講演を頂きました。



## 編集後記

「議会だより8万」が、本号をもって第50号を迎えることとなりました。改めて、創刊号から第49号までの表紙を中心に読み返してみました。発行当時の編集員の意気込みを感じ読み取ることもできるものと、少々形が定型化したことを感じるものと、紙面は正直にその時期の空気を伝えていました。

第50号を迎え、私たちは、議員がどんな活動を行っているかをより生き生きと市民に伝えたいと、編集会議の中で議論をしているところです。

特に本号では、写真の活用を図りながら、議員の活動をわかりやすく紹介しようとしてきました。狙い通りにいかなかった部分は、次号以降も引き続き取り組んでいきます。



ふくしま駅伝応援の様子

### 議会広報委員会

- 委員長 大倉雅志
- 副委員長 大寺正晃
- 委員 安藤 聡
- 委員 車田憲三
- 委員 佐藤瞭二
- 委員 加藤和記
- 委員 橋本健二
- 委員 渡辺忠次

すかがわ市議会だより『8万』発行部数25,000部 1部当たりの単価31.7952円(税込)